

# 参考事例－学習指導略案－

Ⅱ 第6学年 社会科（上） 単元名「今に伝わる室町文化」（第4時の学習指導略案）

伝統文化教育

社会科学学習指導案

6年 組 指導者 ○○ ○○

- 1 日 時 平成○年○月○日（○）○校時
- 2 単元名 「今に伝わる室町文化」
- 3 単元の目標 京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について各種の資料を活用したり，体験したりして調べ，今につながる室町文化が生まれたことの意味について考え，表現する。
- 4 本時の目標 今に伝わる文化と京都の関わりについて考える。
- 5 本時の展開 4／4時間

学習活動	主な発問（◇）主な指示（□） 予想される児童の反応（・） 「学習問題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など（◆） 伝統と文化に関わって必ず提示する資料（㊟）	支援（*）留意点（○） <u>評価</u> 【但し、「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊟及び <b>太字ゴシック</b> で示す。】
1 「日本風の文化」や「今に伝わる室町文化」にはどのようなものがあったのかを振り返る。	◇「日本風の文化」や「今に伝わる室町文化」にはどのようなものがあっただろう。 ・「 <b>日本風の文化</b> 」には， <b>かな文字や蹴鞠，十二単</b> などがあったね。 ・「 <b>金閣</b> 」「 <b>銀閣</b> 」は「 <b>今に伝わる室町文化</b> 」だね。 ・「 <b>今に伝わる室町文化</b> 」の中には， <b>生け花，茶の湯，墨絵（水墨画）</b> などもあったね。 ・ <b>平安時代の平安京，そして室町時代の金閣・銀閣・龍安寺。京都と関わりの深いものばかりだね。</b>	◆単元「 <b>天皇中心の国づくり</b> 」で用いた資料やワークシート ◆ノート（ワークシート）	

<p>2 「文化」という視点で、これまでの学習と関連付けながら、単元のまとめを書き表す。</p>	<p>今に伝わる「文化」と京都の関わりについて、外国の人に伝えるためには、どのように書き表すとよいだろう。</p> <p>・今に伝わる文化というと、<b>かな文字や七夕、金閣、銀閣を挙げることができます。かな文字や七夕は、平安時代に生まれた文化です。また、金閣や銀閣は室町時代に建てられたものです。金閣も銀閣も世界文化遺産に指定されています。これらのことから、京都は今に伝わる数多くの文化が生まれたところだといえます。</b></p>	<p>◆ストーリーシート</p> <p>◆書きまとめの文例:「今に伝わる文化という～や～、～などを挙げることができます。～や～は、…時代に生まれました。また、～や～は、…時代に生れました。特に、～や～、～は京都との関わりが強い文化だといえます。」</p>	<p>㊦ <b>まとめのテーマを「今に伝わる『文化』と京都の関わりについて、外国の人（ALTの先生）に伝える。」とすることで、目的意識をもって、単元のまとめを書くことができるようにする。</b></p> <div data-bbox="1462 391 2110 632" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【社会的事象への関心・意欲・態度】</b></p> <p>本単元やこれまでの単元で文化について学んできたことを関連付けて、今に伝わる文化と京都のかかわりを考えようとしている。</p> <p style="text-align: center;">（単元のまとめワークシート）</p> </div>
--	---	---	---

6 板書計画

月 日 時間目

「今に伝わる室町文化」

今に伝わる「文化」と京都のかかわりについて、外国の人に伝えるためには、どのように書き表すとよいだろう。


※子どもたちの一人一人のストーリーシート【クラス全員分を掲示する。】

